



43号線橋梁下拡幅工事の様



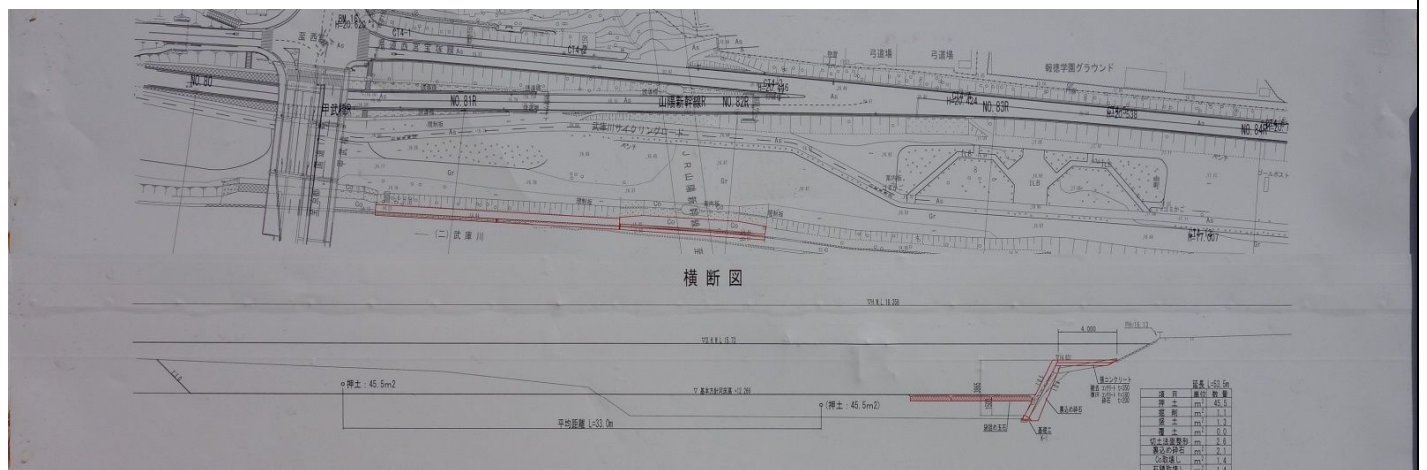
5堰上流左岸の雑木伐採状況



新幹線橋梁付近の護岸復旧工事の様。



甲武橋上流側の押土工事（滞砂の平坦化工事？）



基本施工緒元：護岸ブロック積 堆積土砂搬出

43号線橋梁下の工事が進み拡幅される規模が明瞭に分かるようになって来た。潮止堰までこの幅で延長されるとしたら影響を受ける松の木も出てくるだろう。

この付近は、西宮マラソンのスタート地点や各種イベント会場として使われてきたが広がった高水敷も狭くなり、これまで通りの利用は難しくなるかも知れないが、川は川らしい使い利用方法があると思う。河川改修で大きく姿・形が変わったとしても自然と親しむなど川らしい利用形態が自ずと生まれてくることだろう。

下流部全体的に雑木伐採が進み殺風景になり寂しくなったが、樹木管理も欠かせない河川管理項目の一つだろう。

新幹線橋梁付近の護岸復旧工事が本格化してきた。傷んだ護岸を撤去した傷口をみたら、これまでの改修履歴を示す層が見えてきて何度も手が加え続けられてきた事が分かる。人の背丈以上に積もった砂州を平坦にする押土工事が行われ、両岸の洗屈箇所が埋められ平坦化されようである。しかし平坦化しても、川の形が変わるわけでもなく同じことが繰り返されるだけだが、川を治めるといふのはこの様な事の繰り返しなんだろうと思う。